

わがまち推進計画

高美南小学校区まちづくり協議会

① 計画策定の目的

高美南小学校区の特色をあげると、公共施設が集中するエリアであるということです。

高美南小学校区では昭和42年に安中隣保館として設置された現安中人権コミュニティセンターを始め、地域の住環境や衛生環境などの生活環境改善を目的として、市により住宅・保育所・共同浴場・理容所などが、昭和40年代に建設されてきました。昭和50年代に入ると、児童数の増加による高美南小学校の創立、また、安中青少年会館の開設、安中老人福祉センターの開設など、教育や福祉の分野で充実が図られてきました。

公営の理容所は現在ありません、また共同浴場の新生温泉も2010年度（平成22年度）末をもって廃止されました。2004年（平成16年）には障害者総合福祉センターが建設され、地域の南西部一帯に公園や運動広場などがあり、文化・教育・福祉ゾーンとなっており、色々な人たちが生活をしています。

このような地域の特色を踏まえ、高美南小学校区がめざす将来にわたるまちづくりの目標を示し、地域活動を進める指針として策定したのが「わがまち推進計画」であります。

この「わがまち推進計画」は当初2013～2015年度（平成25～27年度）の3か年の計画として策定し、これに基づく活動を展開してきましたが、この度前3年間の活動の実績を踏まえ見直しを行い、2016～2020年度（平成28～32年度）の5か年の第2期計画として本計画を策定しました。

2

高美南小学校区の現状と課題

(1) 「高美南小学校区」校区の概要



高美南小学校区は、八尾市の中央やや南よりに位置しています。校区の東側は府道八尾道明寺線で区画されており、西側には奈良街道から分かれた八尾街道が通っています。南の端はJR関西本線（大和路線）の線路で区画されています。今も昔も地域交通の幹線が地域に存在しています。現在校区一帯は住宅地中心の地域となっています。

校区の北の端にある矢作（やはぎ）神社は延喜式神名帳に記載されている式内社で、別名を別宮八幡宮と呼ばれています。あたりは、矢作連の居住地でその祖神を祀ったものとされているというように、歴史のある地域です。

（２） 「高美南小学校区」 校区内の様子

地理・交通関連について

高美南小学校区は、JR関西本線（大和路線）八尾駅が最寄り駅となりますが、出かける先により、近鉄大阪線八尾駅を利用することもできます。校区の東端からはどちらの駅へも徒歩で移動するには時間がかかり、自転車、もしくはバスで駅までという利用形態になっています。近鉄バスの志紀車庫前～近鉄八尾駅前間のバス路線の停留所が府道八尾道明寺線（通称青山通り）にありますが、運行は基本的に1時間に1本で時間帯によっては1時間以上間隔があくなど公共交通による利便性は低いといえます。

近鉄八尾駅はエレベーターやエスカレーターのほか、身体障がい者用のトイレが設置されています。また、JR八尾駅周辺は「街の歴史と未来を映し出す自由通路・駅舎」をコンセプトにした駅南北の市街地を結ぶ自由通路の整備及び自由通路から鉄道利用が可能となる橋上駅舎の整備が完了し、貫通型エレベーターやエスカレーター、多機能トイレの設置など、利用者への利便性が向上しました。

乳幼児・児童・教育関連について

1975年（昭和50年）に開校した高美南小学校は、全学年9クラス（支援学級含む）228人（平成27年5月1日現在）が学んでいます。1991年（平成3年）には545人だったのが半分以上の児童数となっており、今後さらなる少子化が進むと思われる。

高美南小学校の校章は、1975年に職員、児童への公募、投票によって選ばれました。八尾市の木（いちょう）の葉を用い、それが鳥の羽にも似て大きくはばたく高美南小学校を表しています。いちょうは数百年と年齢を重ねる木で、そのたくましさに学校の願いがこめられています。



高美中学校の生徒数も1991年（平成3年）の679人から2015年（平成27年）には375人へと大きく減少しています。

高美南小学校・高美中学校の児童・生徒数の推移

	児童数		
高美南小学校	1991年	2008年	2015年
	545	279	228
	生徒数		
高美中学校	1991年	2008年	2015年
	679	393	375

校区内には、市立安中保育所（入所定員 120 人）と社会福祉法人白水福祉会ゆう安中東こども園（入所定員 140 人）のふたつの就学前施設があります。

1975年（昭和50年）に開設された安中青少年会館では、青少年児童活動の健全な発展育成に資することを目的としています。年間や学期間にわたる長期の教室や夏休みなどに実施する短期講座など、文化やスポーツなど様々な教室・講座が開催されるほか、低学年育成教室なども開かれるなど多くの子どもたちに利用されています。

また、2016年（平成28年）2月8日には、つどいの広場えこりがオープンし、0才から就園前（おおむね3歳）までの親子が気軽に集い、交流したり、子育てに関する知識と経験を持ったアドバイザーに相談したりできる、いつ来てもいつ帰ってもいい自由な居場所となっています。（開設日時：月・水・金 10時～15時）

福祉医療関連について

安中人権コミュニティセンター

1967年（昭和42年）に『安中隣保館』として開設されました。その後、『安中解放会館』『安中人権ふれあいセンター』と名称変更はしたものの、「社会福祉法及び基本的人権尊重の精神に基づき、地域住民の福祉の向上を図るとともに、人権啓発の推進及び市民交流を促進し、様々な人権問題の速やかな解決に資することを目的」とする基本理念は変わっておりません。日常生活に密着した相談や、人権啓発の講演会や映画上映会の開催、生涯学習の推進や市民交流を目的とした各種講座等が実施されています。

2015年度（平成27年度）は、人権啓発映画上映会として「人間みな兄弟～部落差別の記録」の上映を行いました。

また、同センター内では、地域就労支援事業、就労・生活相談事業、いきいきネット相談事業、外国人市民相談事業、などの相談事業が相談室において実施されています。

安中老人福祉センター

市内に3ヶ所ある老人福祉センターのひとつで、入浴設備もあります。2011年度（平成23年度）より、社会福祉法人による指定管理が行われており、日々、高齢者が集い、健康づくりや、講座での学習を行うほか、将棋や囲碁、バンパー、時節の行事などを楽しんだり、お風呂に入ったりするなどして、高齢者同士の交流を深めています。

同センターは、年間延べ約36,000人（平成26年度）の利用者があり、高齢者福祉の拠点施設となっています。

八尾市立障害者総合福祉センター

2004年(平成16年)に市立障害者総合福祉センター(愛称きずな)が開設され、障がい者を対象とした日帰りサービス、ショートスティなどのサービス提供のほか、相談事業などを行っています。また、障がい者を対象とした料理、太極拳、パソコンなど十数種類の講座や手話・点字・障がい者スポーツなどのボランティア養成講座も開催しており、年間約48,000人(平成26年度)の人が利用しています。

その他の福祉・医療施設

介護保険関連の特定施設入居者生活介護施設としては、介護有料老人ホーム「さとやま」(入所定員56人)があります。

また、安中診療所をはじめとする医療機関や保険薬局があります。

この校区は高齢者の日常生活圏域では第4圏域にあたり、高齢者の総合相談窓口となる地域包括支援センターは、高美小学校区にある地域包括支援センター成法苑が担当しています。

史跡関連について

校区の中央西寄りに奈良街道から分かれ、久宝寺寺内町、八尾寺内町を経て、長八尾(ながやお)を通り、老原で再び奈良街道に合流する道である八尾街道が縦断しています。

南本町八丁目付近にはこの地域に街道が通じていたことを後世に語り継げるよう八尾街道の名を記した道標が街道に沿ってたてられています。

街道沿いにある矢作神社は、延喜式神名帳に掲載されている式内社です。別名を別宮八幡宮と言ひ、神社周辺の旧地名別宮(べっく)は、この神社に由来していると言われています。

社前の大いちょうは、秋の黄葉の美しさでも知られています。

校区内にはかつて「八尾座」と呼ばれた被差別部落があります。もともと「八尾座」という地名は中世荘園時代に、この地で燈明用の油製造に携わっていた人々が、「座」を形成したことから生まれてきたものですが、時代を経るなかで、そこで暮らす人々を蔑視し、避けるための呼び名に変わっていった歴史があります。そして、この「八尾座」には、明治時代以降いくつかの地場産業がありました。マッチ製造、膠(ニカワ)製造、ブラシに使う豚毛の精毛などがそれです。

いずれの産業も戦後の技術革新と化学製品の登場で衰退し、現在は地域にこれらの工場はありません。

地域ではこの歴史を今に学び、後世に語り継げるよう、高美南小学校や地域の団体である安中地区伝統文化保存会、安中地区人権のまちづくり委員会が協力しあって小学校内の空き教室を利用して「歴史資料室」を設けています。

公共施設について

先ほど紹介しました安中人権コミュニティセンター、安中老人福祉センター、安中青少年会館、安中保育所などは、1960年代から70年代にかけて市営住宅と共に、同和対策事業に関連して建設されており、高美南小学校区は公共施設が集積した地域であります。

また、2004年（平成16年）には障害者総合福祉センターが建設され、地域の南西部一帯が、文化・教育・福祉ゾーンとなっています。

地域の中核施設と呼ぶべき、安中人権コミュニティセンターには、集会室や講座室、料理実習室などが設置され、地域の様々な活動に利用されることはもちろん、趣味・教養・実用講座として、手話入門、硬筆習字、水彩画入門、はがき書画、陶芸入門、ガーデニング、男の料理教室やパソコン関連の講座など14講座が開催され、毎年2月には講座生の1年間の成果の発表の場である「がんばっ展」が開催されます。また、市営住宅が全部で13棟（店舗付き住宅1棟を含む）あります。

その他、校区内の公共の建物としては、八尾市の清掃庁舎（環境保全課・資源循環課・環境事業課・環境施設課）と、八尾市の消防本部・消防署があります。

また、雇用・能力開発機構の住宅（雇用促進住宅）別宮宿舎については廃止・解体され、その跡地はコンビニや分譲住宅地になっています。

その他について

買い物

校区内にはスーパーマーケットが2軒、コンビニエンスストアが2軒あります。また、校区内には個人商店や飲食店、ベトナムの食材店などもあり、日常の買物利便性は、充実しています。校区の東端は府道八尾道明寺線に接しており、ホームセンターや様々な事業所等が立地しています。

スポーツ

校区内には夜間照明が設備されていて、夜の9時までスポーツを楽しむことができる青少年運動広場があり、サッカー、ソフトボール、野球などで、市内全域から年間約23,600人（平成26年度）の利用者が訪れています。

憩いの場

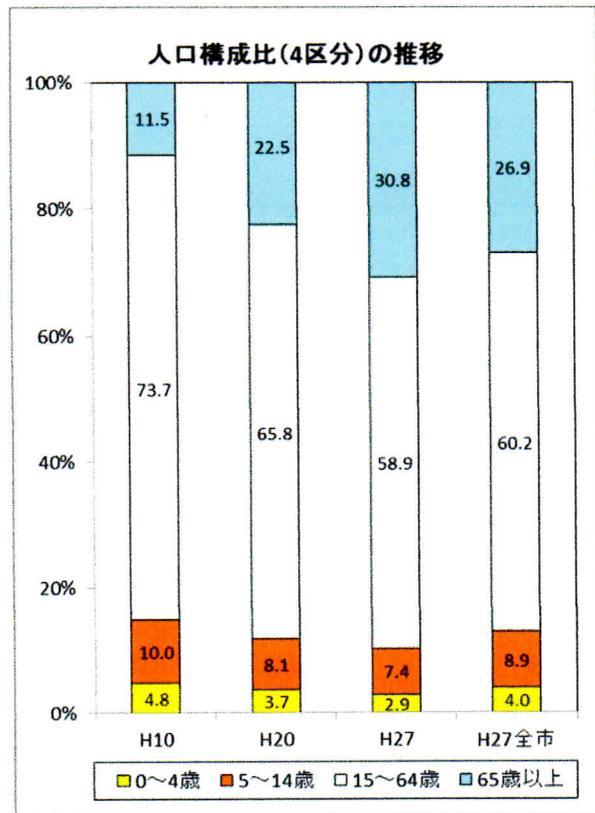
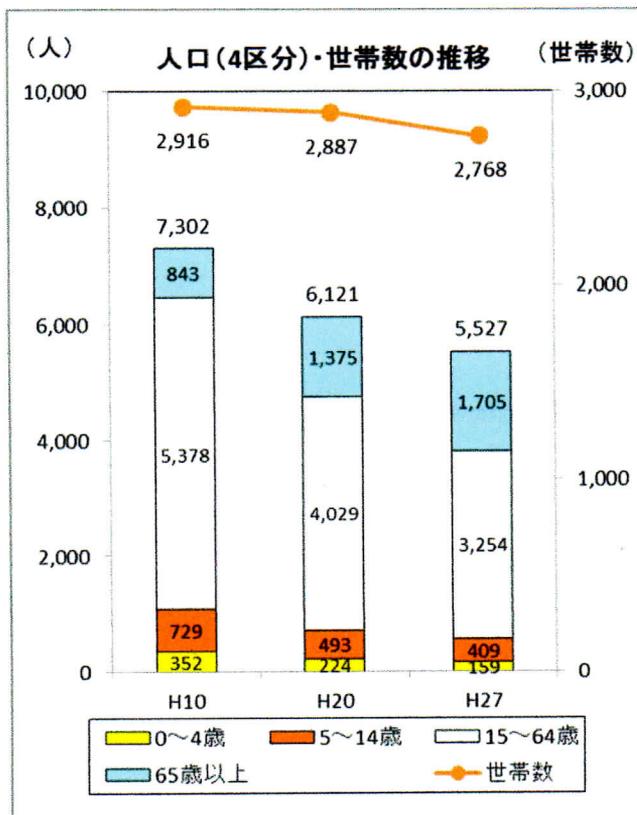
住民の憩いの場となる公園としては、ロボット公園の愛称で知られる南本町第1公園のほか、合計12ヶ所の公園（他、新たに高美町五丁目公園が平成28年中に開設予定）があります。ロボット公園は高美南小学校の西側にあり、0.87haの広さがあります。北側は青少年会館に接し、西側は障害者総合福祉センターに接しています。豊かな樹木や大型遊具などがあり、地域の人々の憩いの場となっています。中央は大きな広場となっ

ており、地域子どもたちを対象とした「ふれあい祭」など、地域の野外イベントはもちろん、秋には毎年、「野遊祭（やゆうさい）」がこの公園を会場に開催されるなど、市内全域から多くの人を訪れる公園です。

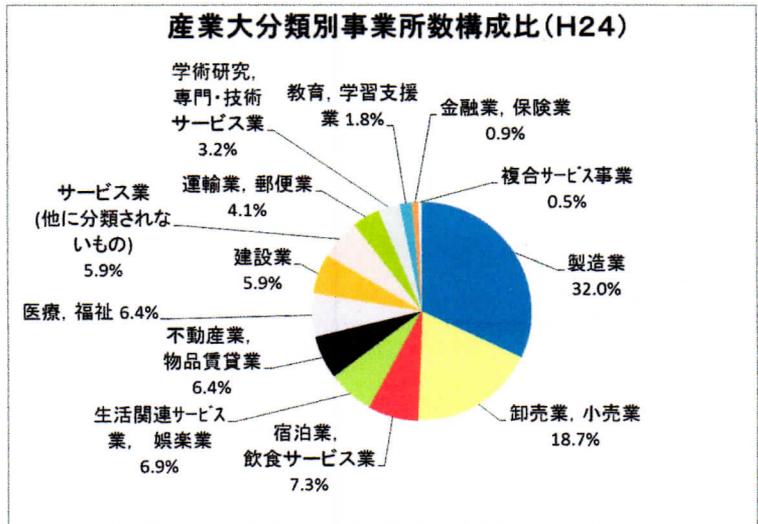
(3) 高美南小学校区早分かりデータ

○人口と世帯数〔H27. 9. 30 現在〕

	高美南小学校区	市総人口に占める割合 (%)	市
人口	5,527 人	約 2.1 %	268,983 人
世帯数	2,768 世帯		121,528 世帯



○ 事業所数と従業者数の推移・産業大分類別の事業所の構成



○ 数字で地域を表すと以下の表になります。

データアラカルト

		八尾市	高美南小学校区
世帯	(世帯)	121,528	2,768
人口	(人)	268,983	5,527
面積	(k m ²)	41.72	0.622
人口密度	(人/k m ²)	6,447	8,886
高齢者数	(人)	72,295	1,705
高齢化率	(%)	26.9	30.8
小学校児童数	(人)	13,888	228
中学校生徒数	(人)	7,289	375
14歳以下人口率	(%)	12.91	10.3
事業所数	(所)	12,250	219
公園面積 ※1	(ha)	43.57	1.86
1人あたりの公園面積	(m ²)	1.62	3.36
狭隘道路率 ※2	(%)	31.2	16.7
幹線道路率 ※3	(%)	5.7	4.8
下水道普及率	(%)	89.8	99.5

※1 久宝寺緑地は公園面積には含んでいません。

※2 幅員4m未満道路延長÷校区内道路延長。

※3 幅員1.2m以上道路延長÷校区内道路延長。